

平成 29 年 第 12 回 建設トップランナーフォーラム
- 地域建設業は想定外の災害にどう備えるか -

日時 / 平成 29 年 7 月 4 日 (火) 14:00 ~ 18:00

会場 / イイノホール Room A (大会議室) 東京都千代田区内幸町 2-1-1

開催趣旨

建設トップランナー倶楽部代表幹事 米田雅子



2011 年東日本大震災、2011 年新潟福島豪雨・紀伊半島豪雨、2012 年九州北部豪雨、2014 年 8 月豪雨（広島土砂災害）、2014 年御嶽山噴火、2015 年鬼怒川堤防決壊、2016 年熊本地震・北海道東北豪雨、2016 年糸魚川大火など、近年の日本では災害が多発しています。地震が少ないといわれた地域で大地震が起き、豪雪対策をしてきた北国で豪雨が増えるなど、地域であまり想定されていなかった自然災害が増えています。

建設トップランナー倶楽部は、これまでインフラの町医者をめざして、地域防災の担い手、社会インフラの守り手、複業による雇用の支え手として頑張ってきました。特に近年では、防災事業、発災時の初動対応、復旧事業における役割の重要性が増しています。担い手不足の中で、災害関連の事業に取り組むために、新工法や ICT の活用に挑戦しているものもいます。

さらに、中山間地域や離島では、農林水産業の健全な営みが地域の保全と防災につながるとして、農林水産業と建設業の複業を進める地域建設業もいます。

本フォーラムでは想定外の災害への備えに焦点をあてます。これまでの各地の教訓を生かして地域建設業はどう備えるべきか、複業の経験からみた地域防災のあり方、災害対応における新しい動きについて、事例発表をもとに議論します。

本フォーラムが、日本列島の防災・減災、災害復興の一助となることを祈っています。